

はたらき人

沖縄信徒聖書学校
沖縄聖書神学校

沖縄県那覇市久米町
2の11 (〒900)
事務局
聖書学校
☎09893(7)8988
神学校
☎0988(86)2020

感謝と報告

沖縄聖書神学校財務
喜友名 朝英

去年果せなかった信徒聖書学校
神学校日を、今年は七月四日に各

牧師に必要なことは、「学びと実践」のバランスです。ですから沖縄聖書神学校では、神学生に神学の教授とともに、教会奉仕を義務づけているのです。
牧師は、「聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるため」(エペソ四章十二節)に召されているとすれば、神学生のときに、徹底して奉仕のわざに励み、奉仕の何たるかを体得することは重要なことです。神学生は、奉仕教会において、教会学校の説教や賛美指導、礼拝における司会、説教、あるいは諸集会の奉仕をとおして訓練を受け、また、奉仕教会の牧師の生きざまから多くを学ぶのです。
卒業後、よき伝道者、牧師として神様に用いられる器となるためには、神学の学びに情熱を注ぐとともに、祈りと敬虔な信仰生活を送り、「教会奉仕」に励むことは大切なことです。
(那覇聖書教会牧師)

沖縄聖書神学校学生募集

- 1 受験資格
大学卒または同等の学力を有するもの。
- 2 入学願書〆切 三月十三日
- 3 試験日 三月十七、十八日
- 3 申し込み
浦添市牧港一七一 眞壁朝貞
☎七七四七三五

教会で実施できたことを心から感謝しております。神学校は教会の働きです。で、献身者、教師だけでなく諸教会の祈りと献げ物なくしては成立し得ないのです。年に一度礼拝の中で、神学校が私たちの働きなんだと確認され、献身者を覚え、教師のために心を合わせて祈ることは、神学校教育の原点に立つことです。
今年には神学校日(信徒聖書学校日) 献金を、信徒聖書学校と合わせて、三十万円を予算に計上しましたが、現在九万四千三百五十円になっております。献付けてくださった胡屋バプテテスト教会、天久神の教会、礼邦バプテテスト教会、ライフセンター那覇店は主に豊かに報いてくださることを信じます。

聖書学校・神学校行事日程

- 二月一七日
・神学校冬季休業
- 一月七日(金)
・聖書学校三期講義開始(教授会あり)
- 三月七日(月)
・神学校講義開始
- 三月一三日
・神学校期末試験
- 三月一四日(月)午後七時
・聖書学校入学試験
- 三月一七日・一八日
・神学校入学試験
- 三月一八日

なおまだ献金という「恵みのわざ」に与っておられない教会があります。目録額三十万が満たされるよう祈りつつ。
(送金先)
▼神学校
琉銀名護支店四〇二二三九七
〇九六沖繩聖書神学校・喜友名 朝英
▼信徒聖書学校
琉銀大謝名支店五〇八一四
四七五八・松田善弘

・聖書学校三期終了
三月二〇日(日)午後三時
・神学校卒業式
三月二七日(日)午後三時
・聖書学校第八回卒業式
▼はや師走
編集後記 今年もクリスマス

スマスの季節を迎えました。言いつくせない神の恵みに感謝しつつ新しい年に備える時でもあります。もうすでに来年度の目標・計画等をなされ、新しい年に向けて燃えている教会もありましょう。
▼今回は信徒聖書学校に学生を送り出している教会の牧師、また神学生の奉仕先の牧師に原稿をお願いしました。

できるだけ多くの兄弟が聖書学校神学校で学んでほしいという願いを込めてあります。
▼聖書学校・神学校のために祈り献げることは大切なことです。それとともに、兄弟を学びの場へ送り出すこともそれに劣らぬ大切なことではないでしょうか。
皆様の御愛顧を一層お願いいたします。
▼出来得る限り早目に新しい号をお手元にお届けしたいと思いがながら、責任者が忙しさにまかせて遅れてしまいました。次号は一月中に発行できるように心がけます。(E.A)



待降のこころ

沖縄信徒聖書学校校長
斉藤 清次

暗やみの中に住んでいた民は大いなる光を見た。暗黒の地に住んでいた人々の上に光が照った。(イザヤ九の二)
罪ふかいものをつみずの束縛から解き放ち、暗やみから驚くべき光と生命の世界へみちびかれる我らの救い主イエス・キリストの御降誕の祝いのときが近づいている。花婿を待つ、かの乙女たちのように良き備えをして心から待ちのぞみたい。良きそなえとは何であろうか。それは真実の悔い改めであり、罪の赦しを求めた魂の叫びであり、また目覚めて待つ僕のすがたである。み言に迫られて、内なる罪にめざめ心の底からへりくだったものとされたいと思う。イエス・キリストによる上からの啓示と人間のこの様な待ちのぞむ姿勢がぶつかり合う所、そこには常に降臨節がある。もし真実の備えが伴う待ちのぞみが我らにないなら、神が現実に来りたもうとも、

多彩なプログラムのかけに、救い主を見失うに違いない。そしてそこに最早聖夜はないのである。人々から非難され嫌われて、交わりからしりぞけられていた取税人ザアカイ(ルカ19章)は、自分の仕事に忠実であればあるほど、大々には冷酷な取り立て人となつた。血も涙もないとおもわれた彼も、心の奥底ではひとり淋しく慰めのない満たされない日々であったに相違ない。主イエスがエリコに入り、ザアカイの家に宿つたその夜、彼は心から悔い改めたのであった。自分の財産の半分を貧民に施し、不正な取り立てに対しては四倍にして返済することを誓つたのである。主は「今日、救がこの家に来た」といわれた。
神は見ようとする者に見せ、きこうとする者にきかせ、たたく者に戸を開き、悔い改めて心くだかれた者に祝福されるのである。その人こそクリスマスは架空のものではなく現実のものとなるので

ある。
他方、イエス・キリストの救いの恵みは全世界のすべての人々に与えられたものであった。一頃はどのさわきはないにしても、商店街では大きなツリーが飾られ、クリスマスソングのメロディが流れまことに商戦たけなわである。またヘンデルのメサイヤ公演などもある。だが、待降の心のない所に救いの成就はあり得ない。そこにあるのは我らクリスチャンの宣教的使命なのである。「あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との御名によって彼らにバプテスマを施し」。クリスマスは主のご命令を果すべき宣教と証しの好機なのである。この時を生かして用いた。心からの愛をもって福音の喜びを分か合うときとしたいのである。
そうするならば、我らはクリスマス

信徒聖書学校に 期待して

田 中 寛 也

沖繩の地に信徒聖書学校が建てられ、信徒伝道者養成のため大きく用いられていますことを感謝しています。私達の教会からも今年入学者が与えられ神の御名を崇めています。

私達が生かされている現代は、ソドムとゴモラのように見せかけの繁栄で満ち、人々はやみと病いの中にある迷いの時代です。主の再臨の近いことを思わされる時、『私は道であり、真理であり命である。』と言われる主を人々に知らせ伝えていかなければなりません。世の光として召されている信徒一人一人がこの世のやみに向って光を放つ存在であるように訓練を受けなければなりません。教会はこの主の要請に答えていくものであります。しかしながら、信徒訓練は一教会自身の力では中々思うようには出来ないものです。唯熱心であるというのでは、伝道は個人プレーに終始してしまいます。伝道は正しい教育と組織化された訓練が熱心の上にブラスされる時大きな力となります。その点

で信徒聖書学校に入学され、色々の立場の先生方から指導されることは、自身の信仰にも奉仕にも大きな成果があると思います。

私は小さな島に信徒聖書学校があることを知らされた時、驚くと共に感謝しました。地方都市に信徒のための学校があるのを余り耳にして、ここがなかつたからです。そして、ここに主の導きを感じています。主が沖繩を特別に愛し、教会のため、また迷っている県民の救いのためにこの学校を興して下さったのではないのでしょうか。教会員一人一人が有用な働き人とされるためこの教育を受けられることを願います。そしてその受けたい教育が十分に発輝され用いられますように祈ります。

『それは、聖徒たちをととのえて奉仕の業をさせ、キリストのからだを建てさせ、わたしたちすべてが、神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識の一致とに到達し、全き人となり、徳いに、キリストの満ちみちた徳の高さにまで至るためである。』
エペソ四・一二・一三
(沖繩第一聖潔教会伝道師)



は福音を伝える為に素晴らしい手段となりました。またキリシヤの様々な熱心徒、あるいは、神秘的な宗教は人々の心に清めの問題、安全という問題、あるいは永遠の命という問題にたいする深い関心または確信を与えられたのです。イエスの福音は、はじめのうち

一九八三年度

沖繩信徒聖書学校学生募集

- △募集人員 二〇人
- △入学資格 新生の明確な自覚をもち、受洗後一年以上忠実な教会生活を送っている者。
- △修養年限 二年(毎週火曜日、金曜日午後七時三〇分～九時)
- △願書〆切 二月末日
- △入学試験 三月十四日(月)午後七時
- △科目 聖書・一般常識・小論文及び面接
- △申し込み 沖繩市宮里二七 七 新垣栄市 電七七八九八八
- 将来信徒伝道者として、キリストと教会に仕えたいと願う者は、ぜひ本校に入学してください。

はユダヤ人の間によく受け入れられたのです。恐らく西暦の六六年までユダヤ人の為に行われた伝道は、驚くべき成功を見せる事が出来ただろうと聖書学者は説明しています。

しかし、福音は異邦人の間に最も早く伝えられて、当時の奴隷階級の間にこそ早く受け入れられたのです。そしてこの伝道は信徒によつてよく行われたのです。「使徒八の一〇四」、ステパノの殉教の後でエルサレムの教会に対して迫害が起つて、「使徒以外の者はことごとく……地方に散らされて行った。そして、「散らされて行った人たちは御言を宣べ伝えながら、めぐり歩いた。」とあります。結局、初代教会の男も女も伝道するようになりました。(使徒二一の九参照)。その当時の伝道会はユダヤ人の会堂においてだけでなく、また信徒や求道者の家でもよく行われたのです。イエスはそういう伝道をよく行ないましたし、使徒たちもよく行ないました。使徒時代の伝道は主に個人伝道や家の伝道でした。

現代の伝道のしかた

神の御心は私たちに明らかにされています。「マタイ二八の一八

伝道は教会の大きいなる使命であり、働きであります。イエス・キリストが父なる神に遣わされたように、私たちはイエス・キリストによつて遣わされているのです。いうまでもなくイエス・キリストの受肉は、この世に神の大きいなるミッションを現わしています。神はそのひとり子を賜わったほどにこの世を愛して下さった」とありますように、神はイエス・キリストを神の大きいなる伝道士として全人類のためにお遣わしになりました。

伝道学と教会の使命

E・ボーリンジャー

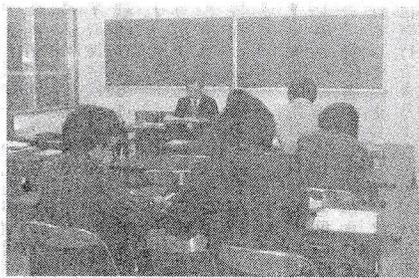
りません(コリント第一の一五の三・四、ローマの一〇四)。キリストの十字架の死とその甦りによって、信じる者に永遠の命と御霊の賜物を与えて下さるという事です。そして、この真の救いも信仰に入るといふ経験も神の賜物です。

初代教会における伝道

何と言っても初代教会の伝道は爆発的な進歩発展を見せました。イエスはその大宣教命令を十一名

「二〇」など。この全世界にキリストの福音を述べ伝えて世界を教化する為には、聖書に教えられている方法を信仰をもって使わなければなりません。すなわち、①全世界を覚えて、自分の「エルサレム」を初め、そして世界に出て行って伝道すること。②すべての信徒は伝道に参加すること。③教会堂においてだけでなく家庭集会などを多くする事が必要です。ように私たちが伝道する場所を多くし、伝道する人数をふやす事が大切です。

福音的教会の形成強化と共に、広く海外宣教の実現を計る」ことで



聖書学校授業風景

神学生と教会奉仕

當 銘 由 正

沖繩聖書神学校の創立の目的は「聖書の全般的知識と体系的理解に必要な語学・神学を授け、敬虔と祈りをもって、神の真理を正確に教え、福音を宣教し得る忠実な教師、牧師及び伝道者を養成し、

神学生の一般的傾向として、神学には深い興味を示して、実践面は軽んじてしまうということがあります。しかし、「教会の形成強化」には、教会奉仕の訓練が不可欠であり重要です。ですから、入学案内でも、「全学生は、母教会または他の福音的教会に出席して、神学生として教会生活を送ると共に、教会や諸団体の伝道の業に奉仕する」とうた